

科学技術創造立国へ

AMNキーンソウ

▶▶66

第2部 オンリーワン

低価格で貸出し

大学で保有する知的資源の民間移転を狙いに、龍谷大学は九四年四月、瀬田キャンパス(滋賀県大津市)に「REC」(龍谷エクステンションセンター)を開設した。同大が進める産学交流の中核拠点だ。

RECには、産学の共同研究を施設面でサポートするため、私立大学として初めて「レンタルラボ」を設置。ベンチャー企業に低価格で、研究部屋を貸し出している。これまでの入居企業は延べ三十社。現在、十七室に二十社が間借りしており、スペースはほぼ一杯の状況だ。

入居企業は、センターにある最先端の研究施設を利用できる。大学の研究員といつでもひざを交えられ、というメリットも享受できる。こうした地の利を生かして、卒業し、他に研究拠点を構えた企業もある。同大出身

の学生ベンチャー二社が、RECを見学する機会に恵まれたことが転機になった。そんなおり、たまたま

龍谷大がレンタルラボ設置

V B育成に一役

龍谷大学との初めての産学交流で手話ソフトを開発したレイシスの小野社長



収録した「手話学習辞典」(CD-ROM七枚組、四万八千円)を商品化、約三百セットを販売。続いて今年四月には初心者学習用として「はじめてのしゅわ」(同一枚、五千八百円)を発売した。

「大学は敷居の高いところという意識しかなかった。まして、うちのような企業規模。産学交流など考えたこともなかった」と苦笑いする。しかし、「これも縁」と、いわば弾みで飛び込んだ。初体験は見事に商品につながった。

「入居費用も安かったし、大学側の人たちにも良くしてもらった。自社に凝り固まらず、これから本格的に産学交流をやっていききたい」と考えを新たにしている。

適切な助言も

「この手法がなかったら膨大な手間がかかってはんならプラザラボ棟に新たな研究室を開設した。今、次の産学連携を模索している。」

「ラボへの入居を認識技術を研究しておけた。熱心に薦められ、これも縁」と即入居。この時、有木教授は「撮影した連続画像のなかから、動きのある手話表現区間と、ホームポジションと、ホームポジションを区別し、自動検出する手法を使い、DBの構築にこぎつ

「手話辞典を作りたい」との話だった。私のところで音声などのパターン

昨年二月、約三千語を